

在来線 名古屋駅5・6番線ホームへの可動柵設置について

当社在来線ではホーム上の安全性を一層高めるため、可動柵の設置を東海道本線金山駅および刈谷駅で進めています。このたび、新たに名古屋駅5・6番線ホーム（東海道本線下り）に可動柵を設置することを決定しましたので、お知らせします。

1. 設置箇所

名古屋駅 5・6番線ホーム（東海道本線下り）

2. ホーム可動柵の特長

東海道本線の快速や普通電車に使用する311系・313系・315系の4両・6両・8両編成のドア位置に対応できるよう、最大4m強の開口幅を有しています。



※画像は金山駅に設置済みのものです。

項目	内容
方式	腰高式ホーム柵
ドア形状	ドア式
最大開口幅	4,030mm
安全機能	戸挟み検知、支障物検知、居残り検知、こじ開け検知、巻き込み検知、非常停止ボタン

3. 使用開始時期

5番線ホーム：2024年6月

6番線ホーム：2023年7月

4. 設備投資額

約12億円